

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
30-48	小学校	国語科	書写	第4学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	書写 404	書写 四年		

1. 編修の基本方針

「書くことで、つながろう。」

書くことで伝え合う喜び。学んだことが日常に生きていく実感。文字の歴史や書の文化に触れる楽しさ。

「書く」ことは、学校生活や日常生活、友達や地域社会、文字の歴史や文化など、さまざまなものとの「つながり」を生みだします。書くことで広がる子どもたちの日常に思いを馳せながら、私たちは、この教科書を編修しました。

1 書く楽しさや達成感が感じられる

——「楽しい!」「おもしろい!」が、学ぶ意欲を高めます。

文字を書く楽しさや喜びを体感できるように、児童が主体的に取り組める言語活動を提示しました。また、学習の前後での自己の変容を実感することで、達成感が感じられるように、学習内容を焦点化し、「何を学ぶのか」「何ができるようになったのか」が明確に分かる構成としました。

2 「書く力」が、無理なく身につく

——「文字を上手に書きたい」という、児童の願いに応えます。

すべての学習要素を効果的に学習できるように、書写要素を精選し、6年間で無理なく身につけられるよう、発達段階に応じて段階的・系統的に教材を配列しました。また、児童が主体的に課題発見・課題解決ができるように学習の流れを明確にし、場面や状況に応じて適切に書く能力を育むことをめざしました。

3 学んだことが、日常に生きる

——「書写は何に生かせるのだろうか?」という疑問に答えます。

児童が必然性をもって学習できるよう、日常生活とのつながりを実感できるような学習活動を設定しました。さらに、書写で身につけた力が国語科や他教科、日常生活でも生きて働くよう教材化を工夫し、書写で学習したことを実感できる構成にしました。



1

書く楽しさや達成感が感じられる

——「楽しい!」「おもしろい!」が、学ぶ意欲を高めます。

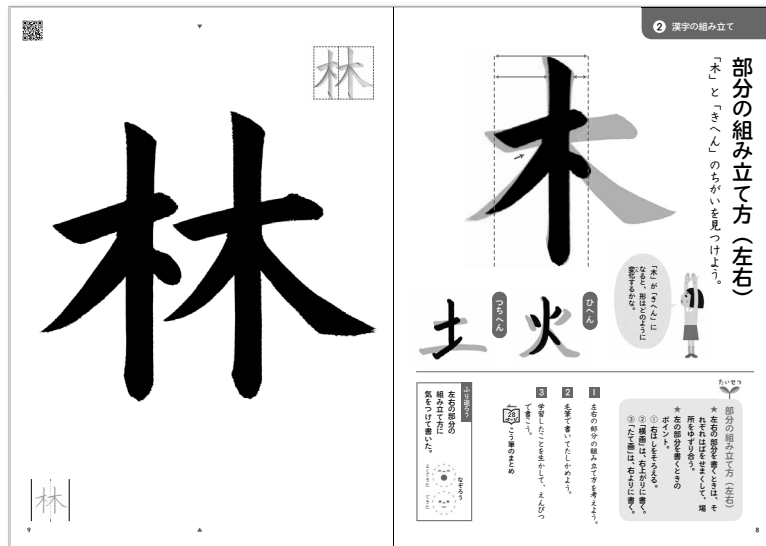
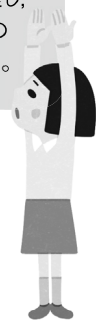
主体的に取り組める言語活動を提示しました。

漢字の部分の組み立てや配列を学習する第4学年では、観察や比較を通して、児童が主体的に文字の整え方の原理・原則を発見する活動を積極的に取り入れました。

【動物キャラクター】
筆使いや運筆のリズムを体の動きで表現します。



【子どもキャラクター】
児童とともに成長し、課題解決や着想のヒントを与えます。



「木」と「きへん」を比較して、左右の部分の組み立て方を学びます。

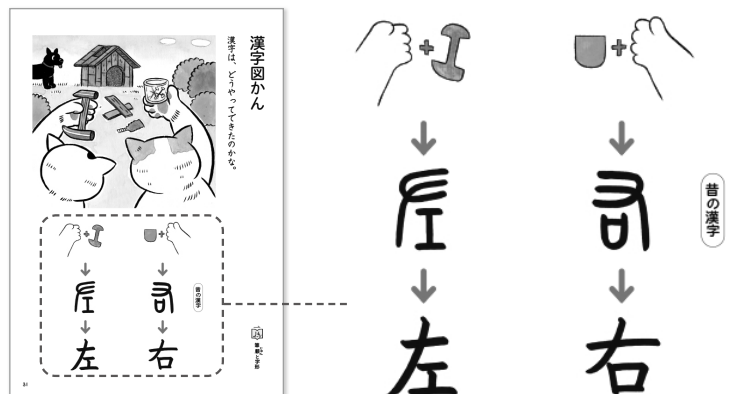
p.8-9 「部分の組み立て方(左右)」

学習内容を焦点化し、達成感の得られる構成としました。

教材単位で学習が完結する、1教材1単元構成を採用。「何を学ぶか」「何ができるようになったか」が分かるよう、「教材名=書写の学習要素」とし、全教材の末尾に自己評価欄「ふり返ろう」を設けました。「書けた!」「書き方が分かった!」という達成感が、学習への意欲をさらに高めます。

「文字のおもしろさ」を感じられる教材が豊富です。

文字への興味・関心が高まるよう、漢字の成り立ちを楽しいイラストで解説する「漢字図鑑」を全学年に位置づけました。発達段階に応じて、低学年では象形文字、中学年では指事文字・会意文字、高学年では会意文字・形声文字を取り上げています。



p.31 「漢字図かん」

2

「書く力」が、無理なく身につく

— 「文字を上手に書きたい」という、児童の願いに応えます。

何を学ぶかが、ひと目で分かる構成にしました。

各教材を、見開きまたは1ページ構成とし、シンプルで分かりやすい紙面を実現しました。スモールステップを積み重ねることで、着実に基礎・基本を身につけることができます。また、全教材に学習のポイントがひと目で分かる「たいせつ」を設定しました。



毛筆の教材文字は、左ページに大きくすっきりと示しました。128%に拡大すると、半紙と同じ大きさになります。

p.12-13 「部分的組み立て方(上下)」

「たいせつ」

- ① 考えよう
(整った文字の書き方を考える)
- ② 確かめよう
(書き方を確かめて、毛筆で書く)
- ③ 生かそう
(学習したことを生かして書く)

各教材に「学習の進め方」を示すことで、児童が見通しをもちながら、主体的に授業に臨めるよう配慮しました。

姿勢・筆記具の持ち方を、繰り返し確認することができます。

各学年の巻頭に、姿勢と筆記具の持ち方を確認する場を設け、繰り返し定着を図れるよう工夫しました。他のページとはレイアウトを区別した「いつも気をつけよう」にまとめることで、必要な時に参照しやすいようにしました。



姿勢や筆記具の持ち方のポイントを確認する「唱え歌」を作成しました。

p.4 「書くときのしせい」

3

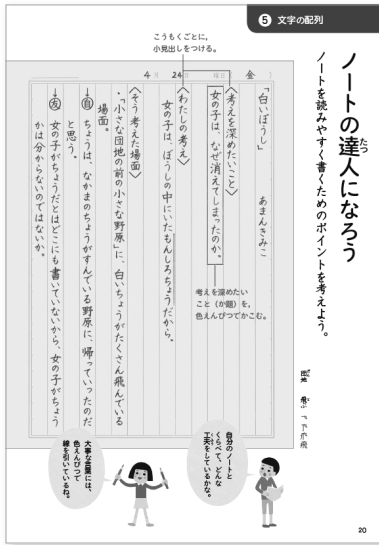
学んだことが、日常に生きる

— 「書写は何に生かせるのだろうか？」という疑問に答えます。

日常とのつながりが実感できる教材を設定しました。

児童が書写学習に親しみをもち、文字を書く意欲を喚起できるよう、教材として提示する語句や文章は、児童の日常生活や他教科の学習内容から幅広く取り上げました。

[日常生活から]

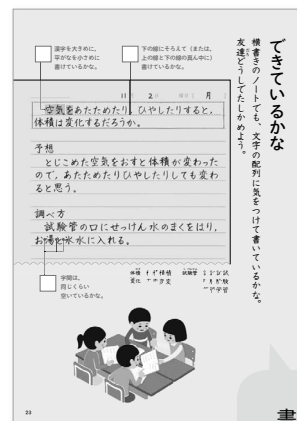


p.20「ノートの達人になろう」



p.32-33「書きぞめ」

[他教科の学習内容から]

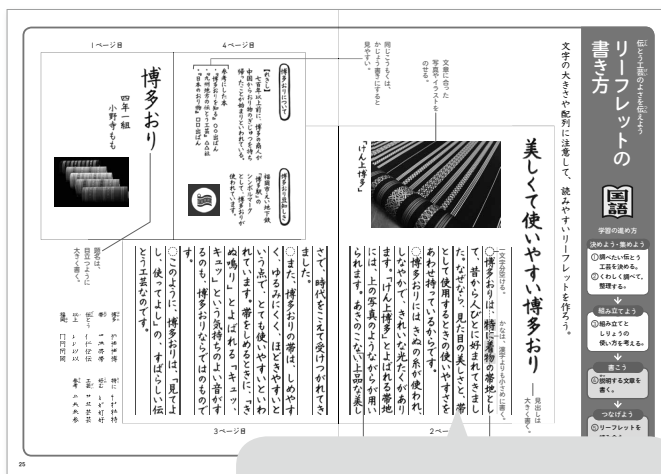


p.23
「できているかな」

書写での学習を他教科に生かす橋渡しとなる教材を、各学年に設けました。

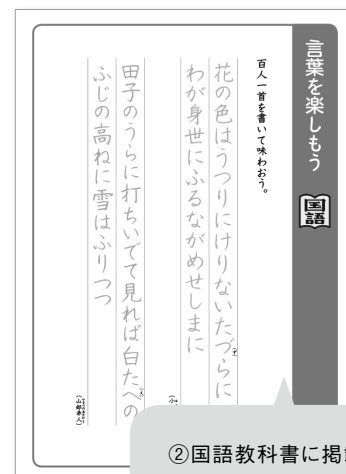
国語教科書と連動させて学習することができます。

国語教科書と連動できる教材を、各学年に二つ以上設定しました。国語と一体的に扱うことで、学習活動に必然性が生まれ、単元全体の配当時数にも余裕が生まれます。



p.24-25
「リーフレットの書き方」

①国語教科書と学習内容・題材・学習時期が一致した教材です。書写ならではの書き方のポイントを付しました。



p.30
「言葉を楽しもう」

②国語教科書に掲載されている物語や短文・俳句を、書いて味わう教材です。

2. 対照表

[第 4 学 年]

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当頁
こんなことはないかな		4年生で学習する「部分の組み立て方」をイラストで示すことで、幅広い知識と教養を身に付けるために、児童の知的好奇心を刺激し、興味・関心をもって学習できるよう配慮した。【第一号】	表2-1
いつも 気を つけよう	学習の進め方／用具のじゅんぴ／用具のかたづけ	1年間で学習していく要素を一覧にすることで、児童自身が身につける幅広い知識と教養を理解し、真理を求める態度を養うことができるよう配慮した。【第一号】	2-3
	書くときのしせい／筆の持ち方	伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重するために、毛筆学習に必要な用具の名称と正しい扱い方を提示した。【第五号】	4-5
	点画の種類	3年生までに学習した、正しい姿勢を身に付け、鉛筆や毛筆の正しい持ち方と動かし方を習得し、漢字の基本点画を繰り返し学習することにより、文字を書くことの喜びや楽しさを体感し、健やかな身体を養うことができるよう配慮した。【第一号】	6-7
漢字の 組み立て	部分の組み立て方（左右）	主体的な学習活動を通して、判断力や真理を求める態度を養えるよう、各教材のリード文は児童自らが考え課題発見できるような表現にした。【第一号】	8-9
	部分の組み立て方（「かまえ」「たれ」）		10-11
	部分の組み立て方（上下）		12-13
字の形	筆順と字形	書写の学習をサポートするため、日常生活とのつながりを実感できるイラストを随所に設定するとともに、児童それぞれにさまざまな気付きがあることを知り、また友達どうして学習内容を確かめたり学習成果を認め合ったりしてお互いを尊重しながら創造性を養うことができるよう配慮した。【第二号】	14-15
	画の方向	全編を通して男女の平等に配慮し、写真やイラスト等に学習上の偏りがないように留意した。【第三号】	16-17
平がなの 筆使い	「結び」		18-19
文字の配列	ノートの達人になろう	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、児童の日常に活かせる取り組みとして他教科教材にも配慮し、ノートの書き方を設定した。【第三号】	20-22
	できているかな		23
	リーフレットの書き方（国語）	国語科の教材として、博多織りを紹介することによって、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮した。【第五号】	24-25
	漢字どうしの大きさ	主体的な学習活動を通して、判断力や真理を求める態度を養うことができるよう、各教材のリード文は児童自らが考え課題発見できるような表現にした。【第一号】	26-27
	こう筆のまとめ／身近な文字をさがそう	既習事項を繰り返して教材化することで、児童の理解を深め、個人の価値を尊重し、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるよう配慮した。【第二号】	28-29
	言葉を楽しもう（国語）／漢字図かん	漢字の成り立ちを知ることによって、古の人々の営みに想いを馳せながら、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。【第四号】	30-31
まとめ	書きぞめ	書き初め教材を設定することで、伝統と文化を尊重し我が国と郷土を愛することについて児童が意識をもてるよう配慮した。【第五号】	32-33
	四年生のまとめ	また既習事項を繰り返し教材化することで、児童の理解を深め、個人の価値を尊重し、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるよう配慮した。【第二号】	34-35
	【やってみよう】ゆめに一步、近づこう	将来の自分を想像した言葉を文字に表すことにより、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。【第三号】	36-37
	【たいせつ】のまとめ	1年間で学習した要素を一覧にすることで、児童自身が身につけた幅広い知識と教養を理解し、真理を求める態度を養うことができるよう配慮した。【第一号】	38-39
	【もっと知りたい】紙・すみ・すずりができるまで	紙・墨・硯の製造方法を紹介することで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うよう配慮した。【第五号】	53
しりょう	手紙の書き方／はかきの表書き／げんこう用紙の使い方	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、児童の日常に活かせる教材に配慮した。【第三号】	40-41
	平がな／かたかな／ローマ字	「ひらがな・かたかな」と「ローマ字表」を同時に一覧で示すことにより、幅広い知識と教養を身につけるとともに、興味・関心をもって学習できるよう配慮した。【第一号】	42-43
	三年生で学習した漢字（200字）	主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう、3年生で学習した漢字を再掲載し、4年生で学習する漢字は硬筆と毛筆を掲載し、文字を正しく整えて書くことができるよう配慮した。【第三号】	44-45
	四年生で学習する漢字（202字）		46-48
	書きぞめ	書き初め教材を設定することで、伝統と文化を尊重し我が国と郷土を愛することについて児童が意識をもてるよう配慮した。【第五号】	49-52

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

すべての児童にとって使いやすく、わかりやすい教科書を実現しました。

- 特別支援教育の専門家から校閲を受け、情報を精選し、大切なことがひと目で分かる、すっきりとしたレイアウトを実現しました。
- カラーユニバーサルデザインの専門家から校閲を受け、文字や図表などに複数の色を用いるときは、だれもが明確に識別できる色の組み合わせになるよう配慮しました。
- 単元名・教材名や「たいせつ」には、読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン書体を用いました。

編修趣意書

学習指導要領との対照表、配当授業時数表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
30-48	小学校	国語科	書写	第4学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	書写 404	書写 四年		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 学んだことが、日常に生きる。

—— 社会にひらかれた書写教科書をめざしました。

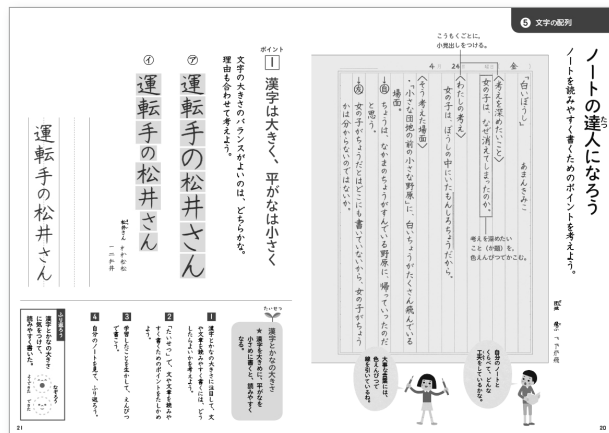
友人や家族・学校や地域社会とのつながりが見える教材を位置づけしました。

第4学年以上の各学年では、児童の日常生活や他教科の学習内容から幅広く取材した教材を豊富に位置づけ、学習したことを、自分や社会と結びつけて深く理解し、日常に活かせるように配慮しました。

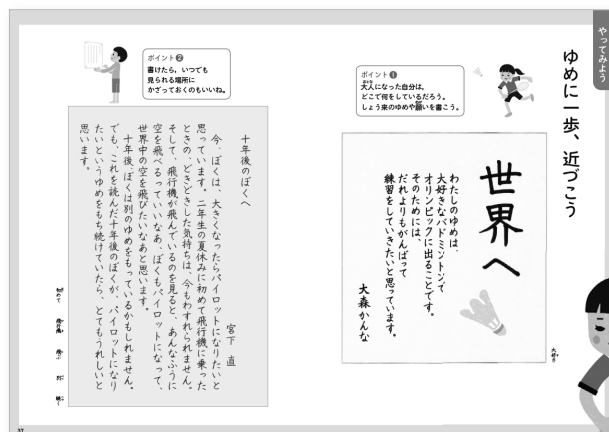
文字への興味・関心を高められるよう、さまざまな文字の例を取り上げました。



p.29「身近な文字をさがそう」



p.20-21「ノートの達人になろう」



p.36-37「ゆめに一步、近づこう」

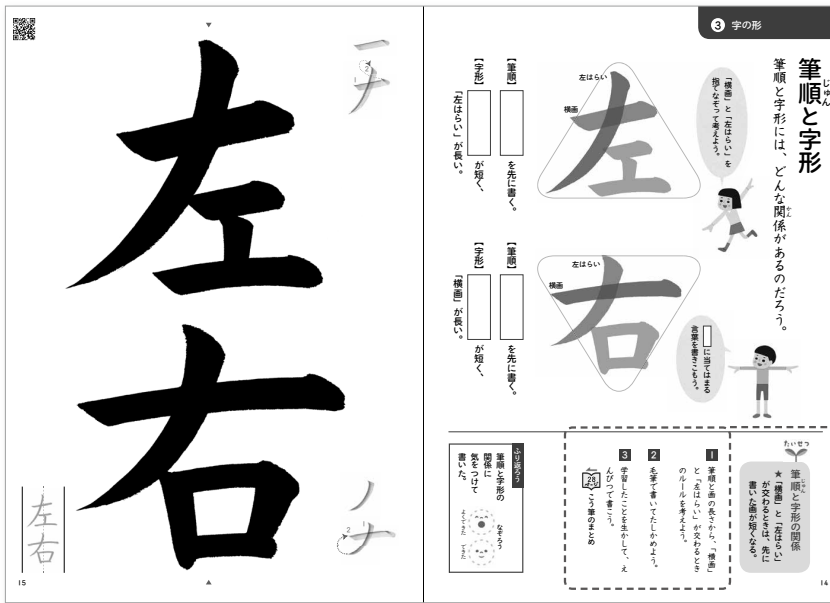
2

学習の流れが、分かりやすい。

— 「学びやすい、教えやすい教科書」をめざしました。

「文字の整え方」を学び、日常に生かすことができる構成です。

各教材は、課題解決型学習を想定して構成しました。課題発見から解決までのプロセスを通して、書写の原理・原則を主体的に学び取ると同時に、思考力・判断力・表現力を養えるよう配慮しました。



p.14-15「筆順と字形」

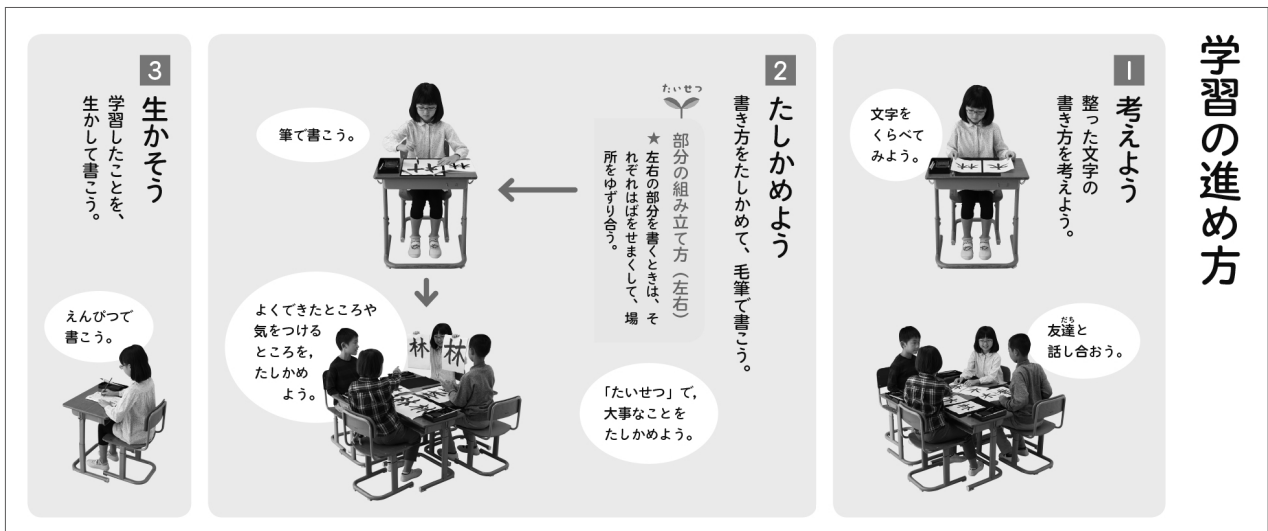
文字の整え方を学び、いろいろな文字に応用できる「書く力」を育みます。

各教材に、「学習の進め方」を示しました。

- 1 考えよう（導入）
観察や比較を通して、原理・原則を発見する。
〔教材名・課題〕
- 2 確かめよう（理解・確認）
「たいせつ」で、原理・原則を理解する。
毛筆で書いて原理・原則を確かめ、
技能を習得する。
- 3 生かそう（活用）
日常の文字に生かす手がかりとする。
〔硬筆のまとめ・ふり返ろう〕



巻頭にも「学習の進め方」を設け、書写の時間に「何を、どう学ぶか」がひと目で分かるように写真で示しました。



p.2-3「学習の進め方」

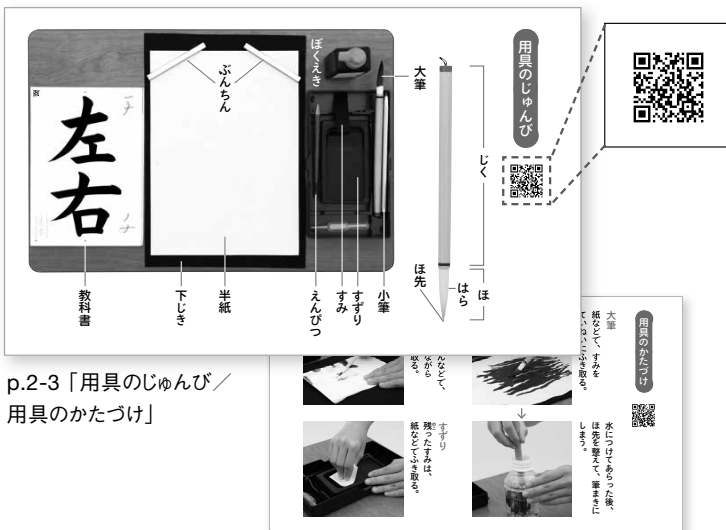
3

学習をサポートする、豊富な動画資料。

—— 用具の準備・片付けから、運筆動画まで。

「用具の準備・片付け」を、動画でサポートします。

教科書紙面に「二次元コード」がある教材では、スマートフォンやタブレットを使って、動画資料を見ることが出来ます。「用具の準備」「用具の片付け」では、スムーズに用具の出し入れを行う手順を分かりやすく解説する動画を用意しました。



p.2-3「用具のじゅんび／用具のかたづけ」



動画「用具のじゅんび」(1分45秒)



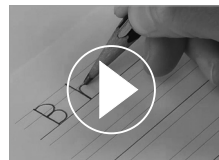
動画「用具のかたづけ」(3分)

運筆動画で、理解がぐっと深まります。

毛筆教材の筆使いを確認できる運筆動画や、正しい姿勢・筆記具の持ち方の解説動画、アルファベットの書き方などの豊富な動画資料が、学習をサポートします。



動画「筆使いを確かめよう」



動画「アルファベットの書き方」

4

特別支援教育・ユニバーサルデザインへの対応。

—— すべての児童にとって使いやすく、分かりやすい教科書のために。

特別支援教育の観点から、専門家の指導・校閲を受けました。

- 特別支援教育の専門家による全ページの校閲を受け、情報を精選し、大切なことがひと目で分かる、すっきりとしたレイアウトを実現しました。特別に支援が必要な児童にとっても、混乱が生じにくく学びやすい紙面です。
- カラーユニバーサルデザインの専門家による厳しい校閲を受け、文字や図表などに複数の色を用いるときは、だれもが明確に識別できる色の組み合わせになるよう配慮しました。
- 読みやすさを考慮して独自に開発した、オリジナルの教科書体を使用しています。
- 単元名・教材名や「たいせつ」には、読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン書体を用いました。



教科書体



UD書体
(ユニバーサルデザイン)



手書き文字

教科書の特徴

[第4学年]

教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・書写の学習を通して幅広い知識・教養を身につけるとともに、書写で培った「正しく整えて文字を書く力」を他教科や日常の言語生活で生かす態度を育成できるよう配慮しました。 ・知識・技能を習得し、課題解決を行う過程で、「思考力・判断力・表現力」や「学びに向かう力」など、「生きる力」を支える能力を養えるよう配慮しました。
学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された「我が国の言語文化に関する事項」の「書写」の指導を全て網羅できるように単元・教材を作成しました。 ・毛筆を扱う際には、教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を教材内や「硬筆のまとめ」(p.28) に設け、毛筆で学習したことが硬筆に生きるよう工夫しました。
内容と系統	<ul style="list-style-type: none"> ・低・中・高の各学年段階で求められる「書く力」を確実に身につけられるよう、基礎的・基本的な知識・技能を系統的に位置づけ、習得と活用を繰り返しながら螺旋的に高められるよう工夫しました。 ・全教材に、学習のポイントがひと目で分かる「たいせつ」を、巻末には「『たいせつ』のまとめ」を設け、「書く力」が確実に定着するよう工夫しました。
配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・1教材1目標とし、その教材で扱う要素を焦点化することで、学習のねらいが明確になり、効果的に力をつけられるよう配慮しました。 ・各教材は、1考えよう(原理・原則の発見)→2確かめよう(書いて原理・原則を確かめる)→3生かそう(日常の文字に生かす・振り返り)という展開が、ひと目で分かる構成にしました。
主体的・対話的で深い学びへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって主体的に学習に取り組めるよう、全教材に「学習の進め方」(1考えよう→2確かめよう→3生かそう)を示しました。巻頭ページでは、学習の進め方を写真で分かりやすく示しました。 ・課題解決型学習を行っていくなかで、対話を通して学習を深められるよう配慮しました。
教材の選定	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆・毛筆とも、学習指導要領の「学年別漢字配当表」に準拠しつつ、小学生にとって学びやすい文字を採用しました。書写の基礎・基本を押さえるのに適しているだけでなく、「国語科書写」として、児童の感性を高められるすぐれた言葉や文章を選びました。
伝統・文化の取り上げ方	<ul style="list-style-type: none"> ・書き初めや、漢字の成り立ちをコラムで揭示するなど、伝統的な言語文化への理解を深められるよう配慮しました。 ・国語教科書に掲載された物語や短歌・俳句のなぞり書き教材として、「言葉を楽しもう」を全学年に位置づけました。
今日的課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・「ノートの達人になろう」(p.20) や「ゆめに一歩、近づこう」(p.36) など、児童の日常生活から幅広く題材を求めて教材化を図ることで、「学びに向かう力」を高められるよう配慮しました。
他教科や実生活との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年に国語との関連教材を2か所以上設け、言語活動(話すこと・聞くこと／書くこと)を通して、日常生活に生きて働く書写の知識・技能を習得できるよう工夫しました。 ・理科との関連教材を設けるなど、教科横断的な学習が充実するよう配慮しました。
道徳との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「紙・すみ・すずりができるまで」(p.53)では、紙・墨・硯の製造工程を取り上げたり、全学年に書き初め教材を設置したりすることで、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するための素地を培えるよう配慮しました。
家庭や地域社会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・「リーフレットの書き方」(p.24) では、地域の伝統工芸のよさをリーフレットにまとめる活動を取り上げるなど、家庭や地域社会との連携に配慮しました。
特別支援教育・ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童が学習に集中できるよう、大切なことがひと目でわかる、すっきりとした紙面構成を実現しました。 ・複数の色を組み合わせるときには、色覚の多様性に配慮し、誰もが識別できる配色を採用しました。
文字・印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> ・環境への配慮から、再生紙・植物油インキを用いています。 ・強度が高く、鉛筆で書きやすい用紙を開発し、採用しました。 ・針金を3か所に施した中綴じ製本で、長期の使用に耐えられるよう配慮しました。

2. 対照表

[第4学年]

図書の構成・内容	学習指導要領の内容			該当頁	配 当 時 数	
	【知識及び技能】		その他の指導事項			
	(3) エの事項	(1) の事項				
こんなことはないかな	(ア)・(イ)			表2-1	適宜	
① ついても つけよう 気	学習の進め方／用具のじゅんぴ／用具のかたづけ	(ア)・(イ)・(ウ)			2-3	適宜
	書くときのしせい／筆の持ち方	(ウ)			4-5	
	点画の種類	(ウ)			6-7	毛1
② 漢字の 組み立て	部分の組み立て方（左右）	(ア)・(ウ)	エ, * (3) ウ		8-9	毛3
	部分の組み立て方（「かまえ」「たれ」）	(ア)・(ウ)	エ, * (3) ウ		10-11	毛2
	部分の組み立て方（上下）	(ア)・(ウ)	エ, * (3) ウ		12-13	毛3
③ 字の 形	筆順と字形	(ア)・(ウ)	エ		14-15	毛3～4
	画の方向	(ア)・(ウ)	エ		16-17	毛2
④ 平かな の筆使い	「結び」	(ア)・(ウ)			18-19	毛2～3
⑤ 文字の 配列	ノートの達人になろう	(ア)・(イ)	ウ・エ	B(1) イ・ウ	20-22	硬2～3
	できているかな	(ア)・(イ)	ウ・エ	B(1) イ・ウ	23	適宜
	リーフレットの書き方 〈国語〉	(ア)・(イ)	ウ・エ, (2) ア・イ	B(1) イ・ウ・エ (2) ア	24-25	硬2
	漢字どうしの大きさ	(イ)・(ウ)	エ		26-27	毛2～3/ 硬0～1
	こう筆のまとめ／身近な文字をさがそう	(ア)・(イ)	ウ・エ		28-29	適宜
	言葉を楽しもう 〈国語〉／漢字図かん	(ア)・(イ)	ウ・エ		30-31	硬1/ 適宜
⑥ まとめ	書きぞめ	(ア)・(イ)・(ウ)	エ		32-33	毛3～5
	四年生のまとめ	(ア)・(イ)・(ウ)	エ		34-35	毛3
	【やってみよう】ゆめに一歩, 近づこう	(ア)・(イ)	ウ・エ	B(1) イ・ウ・エ	36-37	適宜
	「たいせつ」のまとめ	(ア)・(イ)・(ウ)			38-39	適宜
	【もっと知りたい】紙・すみ・すずりができるまで	(ウ)			53	毛1
しりょう	手紙の書き方／はがきの表書き／ げんこう用紙の使い方	(ア)・(イ)	ウ・エ	B(1) イ・ウ・エ (2) イ	40-41	適宜
	平かな／かたかな／ローマ字	(ア)	ウ		42-43	
	三年生で学習した漢字（200字）	(ア)	エ		44-45	
	四年生で学習する漢字（202字）	(ア)・(ウ)	エ		46-48	
	書きぞめ	(ア)・(イ)・(ウ)	ウ・エ		49-52	
	合計時数				30～35	